湖南市議会議員

赤祖父ゆみ

12月議会報告書
N.78
2023年 1月

TEL／FAX　0748-77-5437

無断での複写・転用を禁じます。

♪ご意見お待ちしております。　［発行責任者：赤祖父ゆみ］

アドレス：pengin-fight.6.6.3.9@zeus.eonet.ne.jp
ホームページ：http://akasofu-yumi.net/

新春のお慶びを申し上げます

新しい年の幕開けとなりました。昨年も新型コロナウイルスに悩まされた1年ではなかったかと思います。With コロナを如何に過ごすかが試されています。自らの免疫力を高めて、決してコロナに負けない精神を養っていきたいものです。

原油価格・物価高騰による影響も伴い、生きづらい世の中ですが、皆さんと協力し合って乗り越えていきましょう。私も精一杯、幸せだと思えるまちづくりに向けて力を注いで参りたいと思います。1日も早いウクライナへの侵攻が収まりますように・・新型コロナウイルスの感染が収束に向かいますように願いながら・・・・

今年は卯年です。諦めず無理をせず、停滞した世の中に希望が芽吹くそんな年にしたいです。我慢をしながら一歩一歩進んでいきます。きっとそこには、輝く未来に繋がる何かがあるものと信じて。12月議会の報告を中心にお伝えして参ります。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

赤祖父　ゆみ

通勤通学の道路舗装ができました！！

→

見通しがよくなった道路（岩根地先）

大雨での護岸崩壊修復工事！！

→

民家裏を流れる川が安全に！（立石川）

審査結果

令和４年10月臨時議会　可決

住民税非課税世帯等価格高騰緊急支援

電気ガス等の燃料費が高騰する中、家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対して経済的な支援を行う。

非課税世帯　4155世帯×50000円
家計急変世帯　145世帯×50000円

令和４年11月臨時議会　可決

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援

交付金を活用し、エネルギー・食品価格等の物価高騰の影響を受けた市民

1人4000円分の商品券を配布

令和４年12月定例会

12月14日　予算常任委員会　可決

地域活性化企業人事業・・・・・2280万円

三大都市圏に在住する民間企業等の社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を生かし、地域活性化を図る。(R5年度～R7年度)
湖南市は観光振興等・企業誘致等をエントリー。どちらか精通した企業人1名を採用。特別交付税措置される。

石部駅周辺整備事業・・・4億5198万7000円

社会資本整備総合交付金・・・1億9100万円
県補助金・・・　約8000万円

令和4年度は、9月末に改札口の切り替え。南北自由通路にかかる工事を実施している。工事総額は約18億円。合併特例債は6690万円を財源に充てている。(残高・・約3億円)

道路維持補修事業・・・・7050万円の増額

今年7月の大雨で冠水被害もでている。施設の適正な維持の観点から細かい対応を積み重ねた。増額して綺麗なまちにしたい。

交通安全対策・・・665万円

防護柵設置や、路面標示など8カ所を計画している。

質疑しました

じゅらくの里の管理者が変わる！！
三幸株式会社　可決

問　「土の館」「木工の館」「もりの館」を一体として指定管理としたねらいと課題は

答　住民交流の憩いの場づくり、自然環境を生かしたリラクゼーション効果が得られれる施設として活用していく。3施設を併せて連携の取れた一体の施設として管理運営を行う事で、有効活用していく。環境経済部に移管するが、施設の目的とする「個性あるまちづくり市町村事業費補助金」の目的から外れるものではなく、返還金は不要と考えている。

魅力発信拠点施設「HAT」の管理者変わる！
はっとこにゃん　可決

問　指定管理者に期待される効果について

答　新しい指定管理者の運営ノウハウのもと、伝統野菜、特産農産物、食文化などを中心に、SNSやインターネット、チラシ、看板など多様なツールを活用して発信していく。ここぴあ指定管理者も交えて、みらい公園湖南として常に打ち合わせを行いながら、湖南市の交流拠点への成長を期待している。

専任手話通訳者の拡充に関する請願！
全員賛成で採択！

手話通訳者は、聴覚障がい者にとって、自立と社会参画を支援する専門職です。昨今災害がしばしば起きるようになり、専任手話通訳者の支援は欠かせません。以前から要望されていた専任手話通訳者支援の拡充ですが、週5日を2人の専任手話通訳者を求める請願として、湖南市聴覚障害者協会から提出されました。全員賛成で採択され、執行部は、この結果を深く受け止め、政策拡充に進めて頂きたいと思います。

不登校児童生徒に対する支援制度の確立を求める意見書　全員賛成で採択

事実上、不登校児童生徒数は潜在的に多数存在しており、特に新型コロナウイルス感染症の影響で、不登校が増えているとも指摘されています。様々な理由から、学校生活になじめない児童生徒の社会的自立に向けた学びの場は大変重要と考えます。フリースクールの利用料は月額平均で約3万3千円。子育て世帯への経済的負担が大きいうえに、近郊に施設がないため、車での送迎も必要となっている現状です。不登校児の安定的な学習機会の確保と自立支援のために、財政的な措置や民間施設の支援等を求める意見書で、あらゆる機会の提供で少しでも子ども達の自立に繋げたい思いから賛成をしました。

甲賀広域行政組合議会　可決

10月14日　10月定例会

9：00～　全員協議会
・消防関係　報告事項（事故の和解賠償の額について）
9：30～　本会議

令和4年度決算額

歳入　46億2303万4725円
歳出　45億7337万6364円

前年度に比べてコロナ禍の影響や、熱中症から救急発生件数が245件増加した。119番受診件数748件増加となり、大変厳しい現状があります。人員の増員強化が必要となっています。

また、コロナ禍の影響から、ゴミの量が増えましたが、今は落ち着いています。市民の協力があっての事で、引き続き、ゴミの減量化にご協力下さい。

12月23日　12月臨時会

甲賀広域行政組合議会会議規則の一部改正を提案

協議が必要とされる事案が発生した場合、議会開会当日に開催していたが、議会会議規則に新たに規定を設け、議長が必要とするときは、いつでも招集できるよう改正するもの。

東庁舎の整備及び西庁舎の整備とその周辺の今後のあり方について

問 東庁舎の耐震診断結果は。

答 庁舎北側3階が最も低く、Is値0．361。庁舎全体でIs値0．474という結果で、耐震工事が必要と考えます。

問 どの方向で進めるのか。スケジュールは。

答 耐震補強プラス増築の方向で進め、東庁舎に必要な行政機能調査と併せて検討する。12月中旬に判定結果の報告があります。

問 西庁舎およびその周辺整備について。

答 西庁舎等の機能を東庁舎に集約する。東庁舎の機能を4つの中学校区へ分散する、小規模多機能自治を進める。12 月議会最終日に指針を示していきたい。

問 石部図書館を含む石部文化総合センターの統廃合の検討結果は。

答 二つあるものは一つにする考えです。

問 県が提唱している「子ども図書館」との連携の可能性は。子育て支援としての居場所、誰もが立ち寄れるカフェのような図書館の考えは。

答 県の「子ども図書館」はまだ進んでいない。市民主体のブックカフェ運営は覚悟がいる。これからの議論となる。

子ども育成支援について！

問 湖南市貧困状況について。

答 新型コロナウイルス感染症対策の交付金事業から算出した数では、18 歳以下の子どもの人数で843人。

問 虐待状況は。

答 被虐待児童数は、令和3年で475人。令和2年度と比べて24人増加。平成30年度をピークに横ばいで推移している。児童虐待に対する理解が進み、気づく力が増した。地区担当保健師と3年目を迎えた「子ども家庭総合センター」との連携で一定の流れが効果に繋がったと分析している。

問 年間約 400 人の被虐待児がいるとのことだが、家庭児童相談室の職員を増やす考えは。

答 職員数は現在6人でうち正職員5名。体制を強化してきた。増員が必要と判断した時は増員の検討を行ないたい。

問 子育て支援策の強化について。

答 家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの機能を一体化した「子育て応援サポートセンター」として既に運用しています。相談支援の実績も令和2年度の延べ337人から昨年度では延べ761人に増加しています。また民間園移行に伴い、子どもの一時預かり事業の利用が大きく増加しています。

問 身近な自治会館を活用した子どもの居場所づくり。手挙げ方式でも、市単独の補助金制度を構築する考えは。

答 子ども・子育て未来会議委員からもご意見をいただいている。実現可能なのか、制度設計をしっかり整理していきたい。

市道宮ヶ谷線の安全対策について！

問 19 年前から歩道確保の質問をしてきましたが、未だ改善されていません。今後、野球練習場が建設予定されています。交通量調査結果と緊急的に安全対策を。

答 令和2年12月8日月曜日午前7時から午後7時までの12時間の交通量調査を実施した。石部駅方面への車は486台。大型車は54台。自転車139台。宝来坂方面へ、車は434台。大型車は57台。自転車113台。歩行者34名。ピークは通勤通学時の7時台という結果です。安全を確保するために、約80mの整備が必要であると認識しています。路肩を歩道用地として確保できるかどうかを検証します。

外国籍児童の状況と「さくら教室」に通えないでいる児童の支援について

コロナ禍の影響を受け、令和2年度は275名が令和3年度は270名・令和4年度は251名と減少したが、令和5年度は251名と増加を見込んでおり、今後も増加傾向が予想されます。保護者の送迎ができないことにより通級できない児童・生徒が課題であることから、ICT を活用した遠隔授業の実施ができるよう、令和5年度から教育研究所の研究員を中心に研究を進めていきます。「どの子ももらさない教育」の実現を図って参ります。

研修報告と議員活動

東日本大震災から 11 年。陸前高田市の今・・

10 月 3 日～5 日　LM 推進連盟東北勉強会に参加しました。11 年前、遠野市での議員研修会で、被災地を目の当たりにした衝撃から、その後の復興をこの目で確かめたいと思ったからです。海岸沿いの住宅は高台に移設され、流された場所は草原に。この地を離れた方も多く、コミュニティをどう取り戻すのか。雑草対応にも苦慮されているとの事でした。多くの職員の皆さんも亡くなられた中、市民も一緒に復興に向けて懸命に生きている姿に、感銘を受け、その教訓を次世代に繋げなくてはと改めて思いました。

自治振興セミナー

11 月 10 日（木）
たねやグループ CEO
講師：山本昌仁氏
「持続可能な社会づくり」
自然に学ぶ・・オーガニック story。
田舎にしかできない良さを軸に、世界を見据えて発信し、チャレンジしていく姿勢に益々魅力を感じました。

今の子ども達の現状

12 月 17 日　（土）
～改正児童福祉法を踏まえた地域での子ども・子育て支援～
講師：厚生労働省子ども家庭局　胡内敦司氏
令和 6 年改正に向けた説明とあって、多くの関係者が参加し、我が町で何が出来るのか、子ども達を救うため考えます。

福祉教育常任委員会閉会中の調査

10 月 11 日　・・　議会報告会(懇談会)のまとめ
（子育て支援に関するヘルパーの現状等について）
・公共施設の飲食禁止は活動がしづらい。
・新しい支援プログラムを要望するには、人、物、金、場所が必要。
・市全体での子どもの居場所づくりが重要。長期休暇時の居場所づくりの検討。各地区に出来れば良い。
執行部に伝え、一般質問にも繋げていきました。

議会報告＆懇談会

令和 5 年　2 月　5 日　（日）

石部まちづくりセンター

14：00～16：00

また、ご意見をお聞かせ下さい。ZOOM 希望者は pengin-fight.6.6.3.9@zeus.eone.ne.jp までメールをしてください。
返信させていただきます。

10 月 2 日湖南市総合防災訓練

10 月 15 日 石部宿まつり

10 月 30 日　湖南市文化祭

11 月 6 日宝来坂☆防災フェスタ

11 月 16 日さくら教室

11 月 26 日ホリフェス 2022

トピックス

子ども達への支援をどう進めていくのか、地域は何ができるのかがこれからの課題です。湖南市は、外国籍児童も多いこともあり、甲西中学校での夜間学級設置の立候補をいたしました。
見守っていきたいと思います。

10 月
9 日　青少年指導支援の会
11 日　スクールガード
12 日　さくら教室（教育支援：スポーツ）
15 日　子どもフェスタ
16 日　ウツクシマツフェスタ
23 日　「石部宿を歩く」講師：氏丸隆弘氏
25 日　観光協会研修

11 月
2 日　元気会研修会（不登校体験談他）
3 日　ボランティアまつり
4 日　全員協議会・監査学習会
9 日　三雲くじら保育園視察
13 日　湖南市消防団総合訓練・ふれあい祭り
17 日　「住民自治の根幹」ZOOM 研修会
19 日　石部ふれあい祭り
23 日　三雲城址戦国のろしと秋野菜収穫体験ツアー
26 日　防災士研修会
27 日　G-NET しがフェスタ
30 日～21 日　12 月定例会

12 月
2 日　人権啓発巡回キャンペーン
3 日　うちなる国際化フォーラム
4 日　マラソン大会
9 日　図書館協議会傍聴
10 日　国宝長寿寺文化財講座
18 日　こなん SDGs カレッジ 2022